

< 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第33回

丁子



チョウジノキはフトモモ科に属する常緑性高木です。フトモモ科特有の花を開きますが、蕾を丁子として用いています。

大航海時代、肉の貯蔵目的にスパイスを求めて、スパイス戦争まで引き起こした程貴重なものでした。ナツメグ、胡椒、桂皮と並んで丁子も四大スパイスに数えられています。

薬用としては10世紀頃の【医心方】に歯科治療に用いた記録があります。現在も丁子油が歯科領域で患部の消毒、抗炎症、鎮痛等に用いられています。又、漢方では柿蒂湯(しゃっくり止め)、治打撲一方(打撲による痛み、腫れ)等にも配合されます。

本作品は年代作者とも不詳です。